

## 戦後80年、日本人が忘れてはいけない日

1学期の学校生活も今日で終わり、明日から夏休みに入ります。わくわくしていますか！皆さんはどんな計画を立てているのでしょうか！

これからの約40日間、時間割のない毎日が続きます。先日、5年生の英語の授業で「夢の時間割」という学習をしていました。思い思いに自分だけの時間割を自由に考えようという内容でした。全部体育という人もいましたし、音楽と図工が中心の芸術肌の人もいました。そうです、これからの40日間の時間割は自分で決めて自分でやるのです。自分のやりたい勉強をとことんやって、付けたい力をうんと付けて、それぞれが、一段とパワーアップした姿で2学期に会いましょう！

ところで、今朝は、一学期の終わりにあたり、大切なお話をしたいと思います。

皆さんは、「日本人が忘れてはいけない日」というのを知っていますか。この「日本人が忘れてはいけない日」は、4つあります。そして、私たちは、その4つの日のうちの3つを夏休み中に迎えます。

ひとつは、6月23日です。もう一つは8月6日です。そしてもう一つは、8月9日です。最後の一つは、8月15日です。これらは、一体何の日だか分かりますか。

これらは、全て日本の戦争に関する日です。

6月23日は、沖縄慰霊の日です。太平洋戦争で沖縄はむごたらしい戦場となりました。県民の4人に一人が亡くなったといわれています。その沖縄戦が終結し、沖縄がアメリカ軍に占領された日です。

8月6日は、広島に原子爆弾が落とされた日です。

8月9日は、長崎に原子爆弾が落とされた日です。

8月15日は、この戦争が終わった日です。

この4つの日を「日本人が忘れてはいけない日」にしようと話したのは、校長先生ではありません。天皇陛下です。正しくは、1981年8月7日、当時皇太子だった、上皇様が言われたことで、宮内庁のホームページにも今もしっかりと載っています。

「平和のありがたさをかみしめ、平和を守っていききたいと決意する日」として、この日を忘れずにいたいとお言葉を述べられています。

「平和は戦争がないというだけの受け身な状態ではなく、平和の持続のためには、人々の平和の真摯な願いと平和を生きる強い意志が必要ではないかと思います。(1974 談話)」とも言われています。

8月6日も、8月9日も、8月15日も今年がちょうど80周年です。

あの悲惨な戦争から80年、今なお、世界では悲しい戦争が絶えません。そして、今戦争をしている国の中には、実際に核兵器を持っている国もあるのです。地域限定で核兵器を使ってもいいのではないかという話も耳にします。

明日から夏休みに入ります。

始めに、みんなは、どんな自分だけの時間割を描くのかなという話をしました。そんなのんびりした夏じゃないんだけど・・・という人もいるでしょう。でも、何のために、どんな力を付けるためにこの夏頑張るのか、と自分自身に問うたとき、個人的な目標、越えたい壁はあると思いますが、それすら「何のため」とさらに突き詰めていった時に、「少しでも世界の平和のために役立てる人に」「一人でも多くの人を笑顔にできる自分になるために」と学ぶ目標を確かにもって、これから迎える「日本人が忘れてはいけない日」の3日をかみしめて欲しいと思います。自分のためだけでなく、世界のために、大切な人のために、大いに力を付ける夏にしまいりましょう。

では、皆さん、夏休みを健康で、無事故で過ごしましょう。そして、9月1日に元気にお会いできますように。これで、終業式のお話を終わります。

6月23日

8月6日

8月9日

8月15日

おきなわいれい

沖縄慰霊の日

ひろしまげんばく

広島原爆の日

ながさきげんばく

長崎原爆の日

せんそう お

戦争が終わった日

へいわ せんそう  
「平和は戦争がないという

だけの受け身な状態じょうたいでな

はなく、平和へいわの持続じぞくのため

には、人々ひとびとの平和へいわの真摯しんしな

願いねがと平和へいわを生きる強いつよ

意志いしが必要ひつようではないかと思

います。(1974年：談話ねん だんわ)」